



令和5年度

東京家政大学ヒューマンライフ支援機構

女性未来研究所事業報告

はじめに

女性未来研究所とは

P3

研究所が目指すもの

P4

女性未来研究所主催 ハイブリッド講演会

P5

東京家政大学・板橋区 女性の活躍推進に向けた共催事業

P8

令和5年度 報告

共催イベント

P10

男女共同参画講座講師依頼 など

P11

企画展示「28歳の働く私」

P13

その他

研究所刊行物のご案内

P14

女性未来研究所とは

女性未来研究所は、平成26年4月に板橋キャンパスに設置されました。

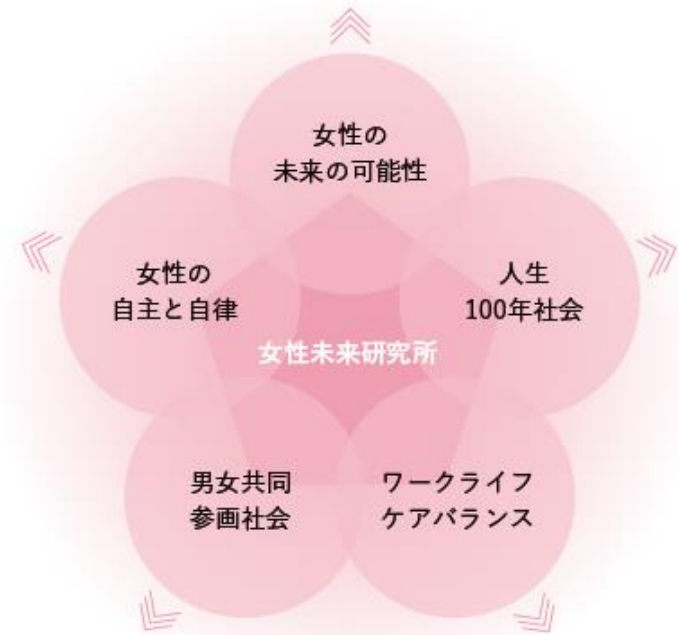
建学の精神である「自主自律」、生活信条である「愛情・勤勉・聡明」と長年におたる女子教育の伝統に基づく、本学固有の女性研究を行うとともに、その成果を社会に広く公表し還元することで、多様性を尊重する共生社会の実現と男女共同参画社会における女性の活躍を支援することを目的としています。



研究所が目指すもの

5分野で研究を深め、未来の女性を、ひいては人間と環境の未来をより豊かにすることを目指します。

1. 女性の未来の可能性
2. 人生100年社会
3. ワークライフケアバランス
4. 男女共同参画社会
5. 女性の自主と自律



研究成果を、地域・社会の発展のために広めていきます。

女性未来研究所ロゴマーク紹介



“女性未来研究所が目指すもの” 「女性の未来の可能性」 「人生100年社会」 「ワークライフケアバランス」 「男女共同参画社会」 「女性の自主と自律」の5分野を、花卉として表し、花卉が重なり合うことでより強固な信念・社会とのつながりをイメージしました。花卉の下の葉は「Women」のWでもあり「包み込む」「支える」手の形を簡略化して表してもいます。

女性未来研究所主催 ハイブリッド講演会

ジェンダー平等の実現のために ～環境に優しい持続可能な社会と私たちの役割～

令和5年6月15日(木) 15:30～17:00

三木ホールとオンラインにて開催しました。



チラシ・ポスター



萩原なつ子氏

ジェンダー視点から見る環境問題全般について、持続可能でより豊かな社会に繋げるために、私たちの役割や身近なところから出来ることについて、環境社会学、ジェンダー研究が専門の萩原なつ子氏(独立行政法人国立女性教育会館理事長)による講演が行われました。

当日は、「ジェンダー問題」と「環境問題」の同時解決を目指し、活動する萩原氏の未来世代に向けた熱い思いが届いたのか、会場では講師の話に耳を傾け、熱心にメモを取る参加者が多くいました。「2つのテーマについて考える機会となった」や「ジェンダーと環境が繋がっていたことに驚きました」等の感想から、今回のテーマについて関心の高さを伺えました。

女性未来研究所主催 ハイブリッド講演会

「わたしの生き方 わたしたちの未来」

令和5年11月9日(木) 15:30～16:30

三木ホールとオンラインにて開催しました。

今年度は、令和4年度渡邊辰五郎奨励賞を受賞した本学卒業生である長谷川美香子氏を講師に招き、講演会を開催しました。当日、会場にはご自身の作品だけでなく、長谷川氏の御祖母様が約80年前に作られたコートをお持ちいただき、当時の本学の知識や技術の高さには、目を見張るものがありました。「パタンナー」という仕事に真摯に向き合い、ご活躍する長谷川氏はまさに座右の銘である『衣道魂高(いどうこんこう)』※1を表すような方でした。 ※この記事は当研究所発行の「NEWS LETTER Vol.06」と同内容です。



平野 順子副所長

長谷川 美香子氏

注釈 ※1ご本人が高校生の時に作った
「衣(ころも)の道において魂を高めゆく」という造語

「LGBTQ+（性的マイノリティ）を学ぶ」

令和6年2月22日（木）14:00～15:40

1-4B講義室とオンラインにて開催しました。

近年、『LGBTQ+（性的マイノリティ）』についての理解や支援が社会全体で広がり始め、本学にも性的マイノリティの学生や教職員が少なからず存在している現状から、当研究所では、『LGBTQ+（性的マイノリティ）学生たちのために大学ができることを』をテーマに学内関係者向けの講演会を開催しました。

基礎知識や他大学の事例、当事者が直面する課題等についての講演と対談を通して、知識と理解を深めるだけでなく、参加者たちの意識改革にもつながる機会となりました。

ハイブリッド配信

LGBTQ+（性的マイノリティ）を学ぶ

近年、『LGBTQ+（性的マイノリティ）』についての理解や支援が社会全体で広がり始めています。本学にも性的マイノリティの学生や教職員が少なからず存在している現状から、当研究所では、『LGBTQ+（性的マイノリティ）学生たちのために大学ができることを』をテーマに講演会を開催します。もし、身近な人が当事者だったら、窓口や授業で学生から相談されたら、あなたはちゃんと理解し、支援することはできますか？無意識に相手を傷つけないために、基礎知識を学び、他大学の事例や当事者たちが抱える課題から理解を深め、大学として取り組むべき課題と大学教職員としてこれからの学生支援を考えます。

2024年

2月22日（木）14：00～15：40

（開場：13：45）

会場：1-4B講義室/Zoomウェビナー

対象：本学教職員（本学学生も参加可能）

定員：対面50名・オンライン100名

講師：森山 至貴 氏
（もりやま のりたか）
早稲田大学 文学学術院 准教授

経歴
1982年生まれ。社会学者。東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻助教、早稲田大学文学学術院専任講師を経て、現在、同准教授。専門は、社会学、フィア・スタディーズ。著書に『LGBTを読みとく—フィア・スタディーズ入門』（筑摩書房）など。



講師：小西 優実 氏
（こにし ゆうみ）
東京大学大学院 総合文化研究科国際社会科学専攻 博士課程

経歴
1997年生まれ。2021年東京工業大学情報理工学大学院修士課程修了、2023年東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻修士課程修了を経て、現在、東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻博士課程、日本学術振興会特別研究員DC、国際基督教大学ジェンダー研究センター研究助手。

<注意>

参加方法によって申込フォーム
および締切日が異なります。
お間違え無いようご注意ください。

対面参加
2024年2月19日（月）〆切



オンライン参加
2024年2月21日（水）〆切



2023年度

東京家政大学・板橋区 女性の活躍推進に向けた共催事業

「子育てママの未来計画」

2023年度
東京家政大学・板橋区
女性の活躍推進に向けた共催事業

子育てママの未来計画

MAMASEMI

子どもや家族と接していく、「自分」を大切にしていますか？
出席費という大きな費用を機会として、
自分の心と目で学びたい方に向けて、
ポイントが貯まるワークショップです。
私たちそれぞれが関心あるテーマと一緒に考えてみるませんか？

オンライン講座 受講料無料

4日間連続講座

レジリエンス編	家政学入門編	講師
忙しい毎日の中でも自分らしくいるために 7/5(水) 7/12(水) 10:00~11:30	子どものいる毎日を充実したものにするために 7/22(土) 7/29(土) 10:00~11:30	東京家政大学 女性未来研究所 平野 麗子 准教授 Aiko Hirano 女性未来研究所長/短大大学教授兼専科 並木 有希 准教授 Yuki Nami 人文学部 英語コミュニケーション学専攻

お申し込み・お問い合わせ先
2023年5月29日(月)~6月23日(金)
j-danjo@city.itabashi.tokyo.jp

オンライン開催について
●授業アプリ
Zoom(モバイル版での参加は推奨はしない。事前にモバイル版のインストールを)
●学習に必要なもの
●パソコン・タブレット端末など、Zoom対応のデバイス
●セミナーに参加できるインターネット環境(通信費は各自で)

子育て中の女性たちが自分自身の生活や希望を見つめ直し、今後の人生をイメージできるよう構成された連続講座を実施しました。女性未来研究所副所長をはじめとした東京家政大学の教員が講師を務めました。

この講座は、講師や受講者同士のコミュニケーション方法としてホワイトボードアプリを使用したオンラインで行われ、受講者からは「視野が広がった」「考え方が変わった」など、毎回大変好評をいただいています。

レジリエンス編

- こころの元気を取り戻す方法を学ぶ
- ・自分の中にある「力」を探します。
 - ・日々の生活の中で知らず知らずのうちに発揮している、自分のよい特性や能力に目を向けます。



家政学入門編

- 毎日の生活を客観的に見直す
- ・家政学の考え方をを使い、自分の資源と生活を探します。
 - ・各自が果たしている役割と、生活に活用している資源について把握します。



チラシ・ポスター

2023年度

東京家政大学・板橋区 女性の活躍推進に向けた共催事業

「子育てママの未来計画」

セミナー講師

当研究所の副所長と本学の専任教員がセミナー講師を担当しました。



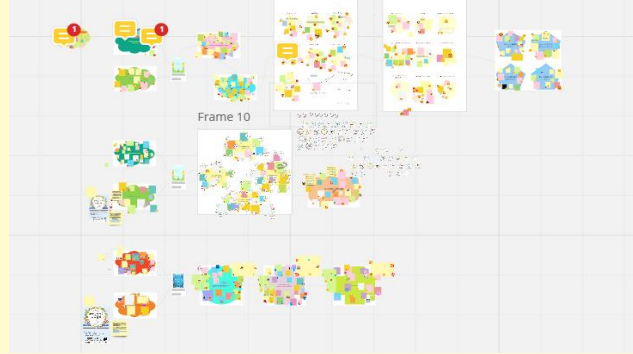
平野 順子
女性未来研究所副所長



並木 有希 准教授



ホワイトボードアプリMiro



セミナー講座内限定で共有のURLを使用しています。



自分の意見を付箋で貼るだけでなく、ステッカーや絵文字を使用し、コミュニケーションを取ることが可能です。

受講者の声

ママとして息子や家族を優先するだけではなく、自分のことも大切にしようと思いました。

大学の教授とセミナーと思うと、堅苦しいものをイメージしておりましたが、実際はとても気さくで人の気持ちに寄り添える素敵な講師でした。

久しぶりに人に自分の言葉を伝えることができ、楽しかったです。内容も気分が明るくなるもので、ためになりました。また参加したいです。



主催：緑窓会
協賛：女性未来研究所

貴女のキャリア 人生の夢を 叶えるために



長谷川 千恵 氏



小島 杏奈 氏



坪内 千恵子 氏



小倉 妙子 氏

貴女のキャリア 人生の夢を 叶えるために

主催：緑窓会 協賛：女性未来研究所

PRESENT!!
学生参加者には、
緑窓会より
お茶菓子を
プレゼント

開催日時
2023
11 / 25 (土)
13時30分～15時
(受付開始 13時～)

【場所】緑窓会館 2階
【主な対象】本学家政学部服飾美術学科
募集人数 50名
【募集締切】11月22日(水)
【申込方法】お申し込みはこちら
緑窓会 TEL: 03-3961-3451

【開催概要】
本学家政学部服飾美術学科卒業生4名が、「学生時代に取り組んだこと、現在のキャリアに至るまでの経験等が、現在の自分にどの様に活かされているか。」について、在学生の皆さまに語ります。そしてこれからのキャリア人生の夢を叶えるために在学生の皆さまが、どう生きるか(ご自身のキャリア人生をより深掘りしてみませんか？)は講演者(先輩)の経験談を拝聴し、後半の時間は、講演者の方々と在学生の皆さまで、グループディスカッション(茶話会)の時間を設ける予定です。

講演者の方々に聞いてみたいポイント
を学生の方々の募集を待っています。

【講演者プロフィール】
長谷川千恵様
小島杏奈様
坪内千恵子様
小倉妙子様

チラシ・ポスター



当日の様子

緑窓会主催の本学家政学部服飾美術学科出身の卒業生4名を講師に招いた講演会が開催され、当研究所は当日の運営補助と広報を担当しました。

参加した卒業生から「学生時代に取り組んだこと、現在のキャリアに至るまでの経験等が、現在の自分にどの様に活かされているか。」について、短い時間ですがお話し頂きました。

茶話会では、卒業生と在学生を中心にとっても和やかな雰囲気でした。

ご講演された卒業生の皆さん

男女共同参画講座 講師依頼

地域支援・交流の一環として、男女共同参画社会推進に向けた講座やセミナーの講師を務めています。

令和5年9月19日(火)
連合東京三多摩地域セミナー講演会



立川女性総合センターアームにて行われた「2023女性セミナー」にて当研究所の平野副所長が登壇し、講演を行いました。

板橋グリーンカレッジ



令和5年度は、高齢者向け教養講座「板橋グリーンカレッジ」にて専門課程と教養課程を担当しました。

令和5年度
幼い子のいる親のための教室



国分寺市本多公民館主催事業として行われた幼い子のいる親のための教室の講師を務めました。

令和5年度 東京ウィメンズプラザフォーラム内イベント

NPO法人子育てママ応援塾ほっこり~のプレゼンツ

子育て中の女性が、より自分らしく活躍できる世の中のために

2023年11月11日(土)13:00~14:00

東京ウィメンズプラザ ※対面・オンライン併用

子育て期の女性があらゆる分野で自分らしい選択を諦めずに自分らしく社会で活躍するために家庭、職場、地域はどうあればいいのか、当事者を含めマインドはどう変化していくのがいいのかについて、実際に子育て真っ最中に起業したNPO法人子育てママ応援塾ほっこり~の代表の内海千津子氏と現役子育て中の当研究所の平野順子副所長による対談が行われました。



内海 千津子氏

平野 順子副所長



対面開催の様子

参加者の感想

4つの力や柔軟性などナットク共感することが多かったです。



“スモールステップでも良い”
これを積み重ねていきたいです。



本日のお話の中で、子育て中のエピソードや悩みなど、今の自分に共感できる部分がたくさんあり、今日お話聞きにこれだけで、とても満たされた思いがします。



企画展示 「28歳の働く私」

令和5年11月9日(木)

三木ホール(小講堂)ロビー **パネル展示**

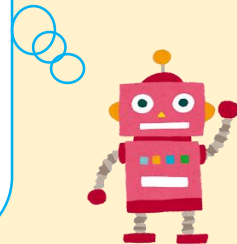
当研究所主催講演会「わたしの生き方わたしたちの未来」開催に併せて、独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)女性アーカイブセンターより平成27(2016)年にアーカイブセンター所蔵展示「男女雇用機会均等法から30年」の際に展示されたパネルをお借りしました。展示したパネル「28歳の働く私」は、各年代(1965年～2005年)の働く女性の実情を表現しています。

当研究所では、令和5年「28歳の働く私」を制作しました。また、ニュースやSNSなどで見たり、聞いたりする単語を掲載しました。

男女雇用機会均等法とは？

女子差別撤廃条約の批准により、男女差別を禁止する国内の法整備のため、1985年制定、翌86年施行された法律です。この法律は、性別によって差別されることの無い職業生活の実現と男女とも平等に扱うことを定めた法律です。その後も社会の変化に応じて、改正・施行がされています。

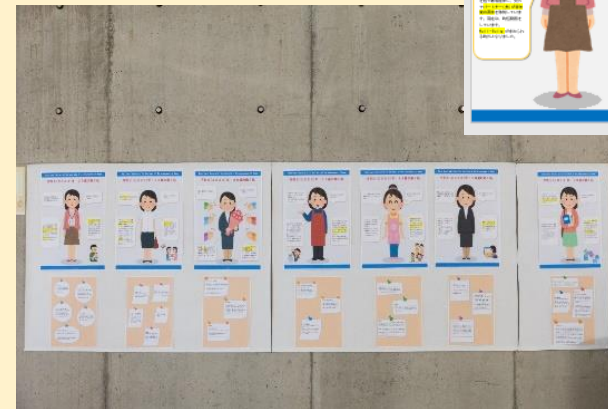
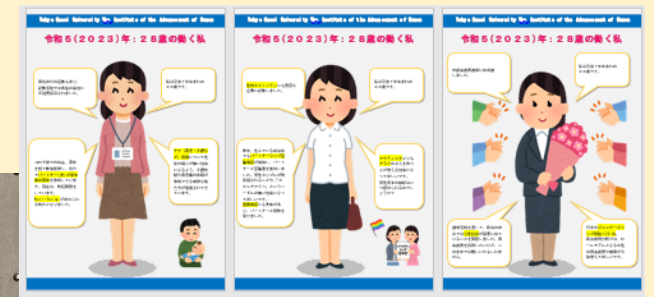
2020年にマタニティハラスメント(マタハラ)に対する相談や苦情に応じ、適切に対応するために必要な体制整備が義務付けられました。



パネル展示例として上記の写真が掲載されています。

[講演会活用例](#)

独立行政法人 国立女性教育会館
女性アーカイブセンター所蔵



東京家政大学
ヒューマンライフ支援機構
女性未来研究所 制作

研究所刊行物のご案内

女性の150年年表



毎年、本学新生向けに年表の配布を行っています。
年表のサイトもありますので、授業や講座セミナー等にご活用ください。

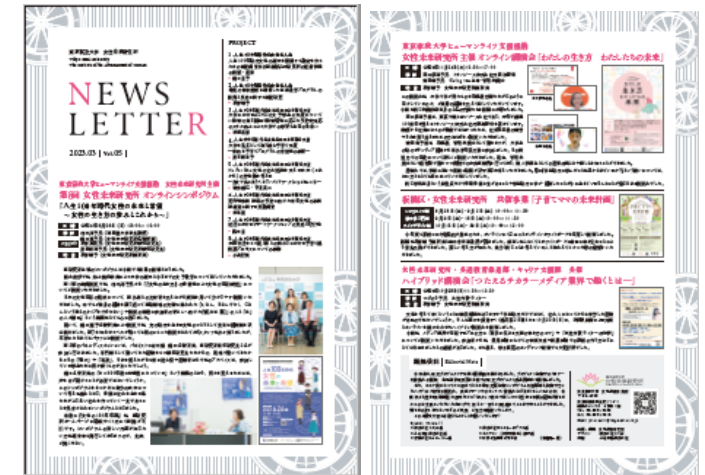
[「女性の150年 年表」Webサイト](#)



研究所活動報告書

年1回、当研究所活動報告書とNEWS LETTERを発行しています。
活動報告書は研究所ホームページにて閲覧可能です。

NEWS LETTER





[東京家政大学 女性未来研究所](#)



詳しくは、女性未来研究所ホームページをご覧ください。